

 Sun A. Kaken

証券コード:4234



株主の皆様へ

第111期 第2四半期のご報告

2019年4月1日～2019年9月30日

株式会社 サンエー化研

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。また、度重なる自然災害により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

第111期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに通期経営成績の見通しについてご報告させていただきます。

### 当第2四半期の経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国経済が底堅い内需を背景に堅調に推移する一方、中国においては米中貿易摩擦の長期化により企業活動が停

滞し、景気の減速感が強まりました。また、ユーロ圏においても製造業の低迷が続いており、世界的な景気の後退が懸念されております。

わが国経済においては、アジア向けを中心に輸出が低迷するなか、雇用所得環境の改善に伴う個人消費の持ち直しや企業の堅調な設備投資に支えられ、景気は横ばいで推移しました。

### 当社グループの業績概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、軽包装材料と一部の機能性材料の受注減少によって、売上高は前年同期比で減少しました。損益面については、受注減少に伴う設備稼働率の低下によって製品の単位原価が上昇し、前年同期比で減益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高152億97百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益 1億84百万円（前年同期比18.7%減）、経常利益 2億6百万円（前年同期比25.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 1億20百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

代表取締役社長

山本明広



## 今後の施策と通期業績見通し

当第2四半期連結累計期間の経営成績は前述のとおり厳しい結果となりました。今後は、以下の方策を確実に実施することにより、業績回復に取り組んでまいります。

軽包装材料につきましては、電子レンジ対応食品包材の需要が高まりつつあるなか、「レンジD o !」の拡販に一層注力するとともに、その他の当社が強みをもつ独自商品と併せ、顧客のニーズに真摯に向き合い、改良・改善に向け絶えず努力し、顧客の開発段階から提案・協力等を積極的に行って、受注増加に努めます。

また、世界的にクローズアップされ始めた海洋プラスチックごみ問題に対処するため、紙、生分解性プラスチック、バイオマスプラスチック等を主原料とする環境にやさしい包材やリサイクルに適したモノマテリアル（単一素材）による包材の開発にも積極的に取り組んでまいります。

産業資材については、新設の掛川工場WESTの稼働率向上と、同工場を核とする生産体制の再構築を推進し、生産性向上と事業基盤強化を図ります。

特に剥離紙については、FPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙の製造工程見直しと新タイプの開発を進め、コスト低減と販路拡大を図ります。炭素繊維プリプレグ用工程紙については、用途拡大に向けユーザーへの技術アピールに努めます。さらに、本格参入途上にあるメディカル分野に一層注力するとともに、その他未開拓の分野についても製品開発に取り組んでまいります。

機能性材料については、世界規模で液晶パネルの過剰在庫が顕在化したことにより、表面保護フィルムの需要は弱含み

で推移しておりますが、今後も光学用部材メーカーの開発案件を幅広く手掛けつつ、技術の研鑽と迅速な対応によって顧客の信頼に応え、受注機会の拡大に努めます。また、光学用途以外の分野についても開拓、拡販に努め、液晶パネル業界の好不況による影響緩和を図ります。これらの施策により、中国における連結子会社：灿櫻（上海）商貿有限公司及び関連会社：長鼎電子材料（蘇州）有限公司とともに、当事業セグメントの事業拡大並びに業績向上を果たしてまいります。

その結果、当社グループの通期の経営成績は、売上高307億円（前期比1.6%減）、営業利益4億10百万円（前期比25.7%増）、経常利益4億80百万円（前期比18.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2億70百万円（前期比45.4%増）を見込んでおります。

なお、セグメント別の売上高は、軽包装材料122億円（前期比3.4%減）、産業資材76億円（前期比7.9%増）、機能性材料103億円（前期比5.3%減）、その他6億円（前期比6.7%減）を見込んでおります。

2019年12月

### ■ 第2四半期決算ハイライト

売上高

**152億97**百万円  
(前年同期比 **3.3%**減)

営業利益

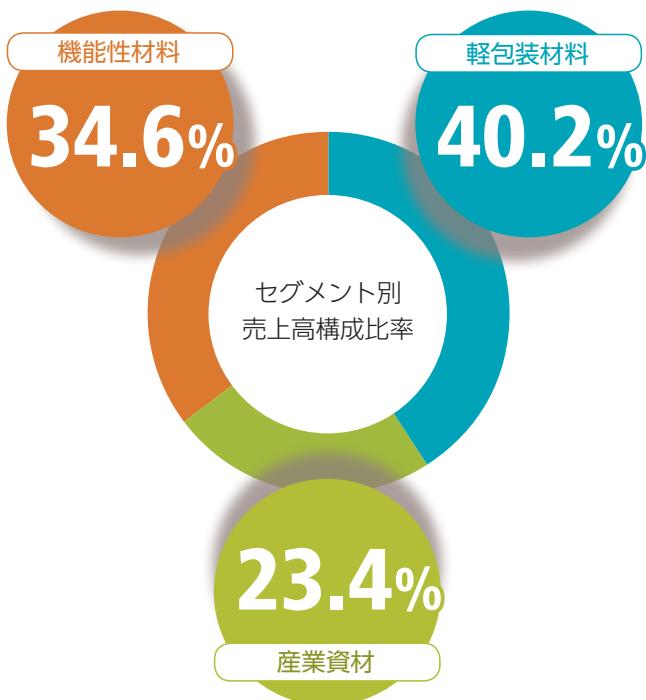
**1億84**百万円  
(前年同期比 **18.7%**減)

経常利益

**2億6**百万円  
(前年同期比 **25.2%**減)

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

**1億20**百万円  
(前年同期比 **30.4%**減)



## ■ セグメント別売上高

売上高	152億97百万円
軽包装材料	61億44百万円
産業資材	35億73百万円
機能性材料	52億99百万円

## 軽包装材料



### 事業内容

食品、医薬品、医療器具、洗剤・トイレタリー用品、電子部品、精密機器等の包装材料(包材)の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境にやさしい包材の開発にも取り組んでいます。

### 当第2四半期連結累計期間の概況

**食品用包材**については、前期市場投入した電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の新タイプが受注減少。天候不順と競争激化で清涼飲料用パウチも伸び悩み、減収。

**医薬品・医療用包材**については、高防湿PTP包装用フィルム「テクニフィルム」が伸長。他の医療用機器関連の包材も堅調で、増収。

**洗剤・トイレタリー用包材**については、液体洗剤及びシャンプー・リンス等詰替え用パウチの受注が減少するも、化粧品用包材の受注が回復し、僅かに増収。

**精密機器その他の包材**については、エア緩衝材「エアロテクト」が主力ユーザーの使用量削減により受注減少。その他の包材でカバーできず、減収。

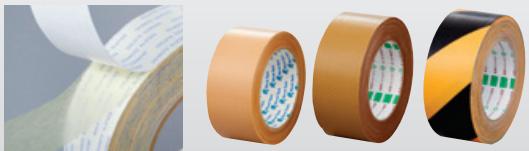
### 売上高の推移

(単位:百万円)

■ 第2四半期累計  
■ 通期



## 産業資材



## 事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

## 当第2四半期連結累計期間の概況

テープ基材関連製品については、建築・物流業界における粘着テープの需要にやや陰りが見られるも、合理化による価格対応と顧客であるテープメーカーの拡販によって受注が増加し、増収。

剥離紙については、自動車部品関連や一般用途の受注が堅調。前期末まで低調であったFPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙も、スマートフォン市場の復調により受注が回復し、増収。

## 売上高の推移

(単位:百万円)



## 機能性材料



## 事業内容

粘着塗工タイプ、2層押し出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

## 当第2四半期連結累計期間の概況

粘着塗工タイプ「サニテクト」については、PET基材の「NSタイプ」の拡販に努めるも、一部ユーザーの仕様変更への対応で販売低下。PO基材の従来タイプは、2層押し出しタイプ（強粘着品）への置換え等に伴う市場縮小により受注が減少し、減収。

2層押し出しタイプ「PAC」については、偏光板用途及びスマートフォン関連の受注が増加し、増収。

精密塗工タイプ「SAT」については、スマートフォン関連の受注が回復途上。液晶テレビ関連も海外向けに受注が増加し、増収。

## 売上高の推移

(単位:百万円)



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 2019年3月31日現在	当第2四半期末 2019年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	20,028	19,627
現金・預金	5,380	5,591
売上債権	10,974	10,260
たな卸資産	3,338	3,449
その他	334	326
固定資産	13,757	13,023
有形固定資産	7,528	7,385
無形固定資産	32	28
投資その他の資産	6,196	5,609
<b>資産合計</b>	<b>33,786</b>	<b>32,650</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	12,060	11,456
仕入債務	6,898	6,304
短期借入金	3,280	3,080
その他	1,881	2,071
固定負債	2,345	2,169
長期借入金	715	668
その他	1,629	1,500
<b>負債合計</b>	<b>14,405</b>	<b>13,625</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	17,519	17,541
資本金	2,176	2,176
資本剰余金	2,136	2,136
利益剰余金	13,322	13,344
自己株式	△116	△116
その他	1,861	1,484
<b>純資産合計</b>	<b>19,380</b>	<b>19,025</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>33,786</b>	<b>32,650</b>

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 2018年4月 1日から 2018年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで
売上高	15,824	15,297
売上原価	14,044	13,592
<b>売上総利益</b>	<b>1,780</b>	<b>1,705</b>
販売費及び一般管理費	1,554	1,521
<b>営業利益</b>	<b>226</b>	<b>184</b>
営業外収益	181	136
営業外費用	131	114
<b>経常利益</b>	<b>276</b>	<b>206</b>
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>276</b>	<b>206</b>
法人税、住民税及び事業税	96	64
法人税等調整額	21	18
非支配株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)	△14	2
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>173</b>	<b>120</b>

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 2018年4月 1日から 2018年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	890	761
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,190	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△351	△300
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△13
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△631</b>	<b>195</b>
現金及び現金同等物の期首残高	5,488	5,199
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>4,856</b>	<b>5,394</b>

## ■ 総資産

(単位:百万円)

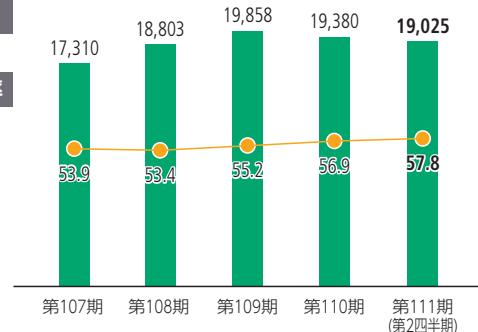


## ■ 純資産

(単位:百万円)

## ● 自己資本比率

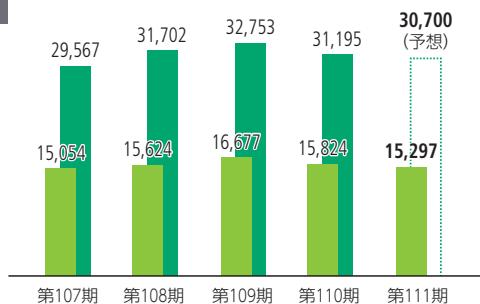
(単位:%)



## ■ 売上高

(単位:百万円)

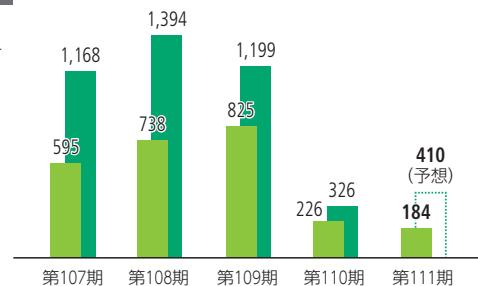
■ 第2四半期累計  
■ 通期



## ■ 営業利益

(単位:百万円)

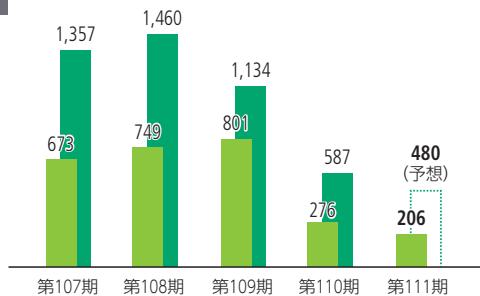
■ 第2四半期累計  
■ 通期



## ■ 経常利益

(単位:百万円)

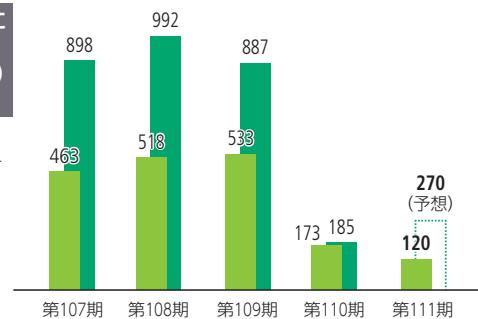
■ 第2四半期累計  
■ 通期



## ■ 親会社株主に 帰属する 四半期(当期) 純利益

(単位:百万円)

■ 第2四半期累計  
■ 通期



## 環境に配慮した次世代の包装材料

当社グループの東邦樹脂工業株式会社は、紙にヒートシールタイプの水性コーティングを施した新タイプの包装材料を開発しました。

ヒートシール機能を付加した水性塗料を、基材である紙に直接コーティングすることにより、樹脂やプラスチックフィルムをラミネートすることなく、製袋機や充填機で使用する事が可能となる新製品です。

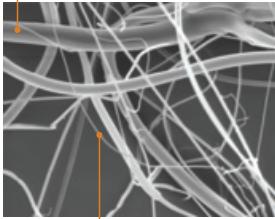


現在、包装材料はプラスチックフィルムを基材とするものが主流ですが、環境負荷が低いわけではありません。本製品はCO<sub>2</sub>排出量の削減につながるだけでなく、昨今問題となっている海洋プラスチックごみの削減にも寄与する環境にやさしい包装材料として、今後様々な用途での利用が期待されます。

## 「SPORTS of HEART 2019」に協賛

2019年9月・10月に開催された障害のある人もない人もみんなで一緒に楽しむ「スポーツ×文化」の祭典「SPORTS of HEART 2019」に協賛いたしました。



9.6 $\mu$ m

640nm

## 新素材を用いたOIL吸着材

当社では、従来のコア技術に新たな加工技術を加え、従来よりも高性能なOIL吸着材を開発しました。

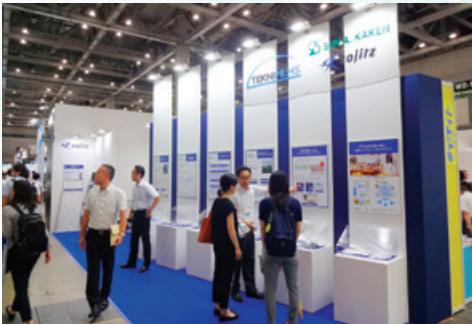
素材にはポリプロピレンを用い、径の細い繊維であるナノファイバー（500～900nm）により、水をほとんど吸着せずに油だけを最大で自重の30倍吸着します。

この吸着材を使用することで、OILを含むキッチン排水といった汚染物質の下水・河川・海への流出の低減、配水管清掃頻度の低減を実現していきます。



## 「インターフェックスジャパン －[医薬品][化粧品][洗剤]製造・包装展－」に出展

2019年7月3日(水)より7月5日(金)まで、東京ビッグサイトにおいて開催された「インターフェックスジャパン－[医薬品][化粧品][洗剤]製造・包装展－」に双日プラネット株式会社様と共同で出展いたしました。





2019年9月30日現在

## ■ 株式の状況

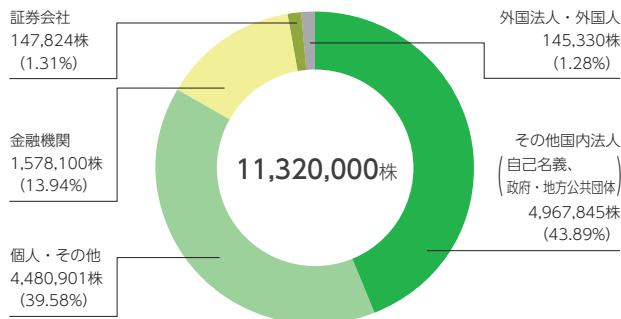
発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	11,320,000株
株主数	2,601名

## ■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.51
昭和ボックス株式会社	1,244,200	11.33
サンエー化研社員持株会	366,600	3.34
株式会社三菱UFJ銀行	310,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
双日プラネット株式会社	227,000	2.06
株式会社みずほ銀行	200,000	1.82
Japan Act合同会社	127,800	1.16
山田美千代	121,500	1.10

1. 当社は自己株式を345,345株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式(345,345株)を控除しております。

## ■ 所有者別株式分布状況



## ■ 会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、台北営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設立	1942年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	544名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

## ■ 連結子会社

東邦樹脂工業株式会社	本社・工場/栃木県下都賀郡野木町野木148
株式会社ペンリード	東京都中央区日本橋本町1-7-4
灿櫻(上海)商貿有限公司	中国上海市長寧区虹橋路

## ■ 役員

代表取締役会長	藤岡 宣 隆	社外取締役	藤澤 廣 一
代表取締役社長	山本 明 広	常勤監査役	鈴木 直 樹
常務取締役	櫻田 武 志	監査役	宮本 貞 彦
取締役	芝 彦 尚	監査役	飯崎 充
取締役	山本 元		

(注) 監査役 鈴木直樹、宮本貞彦及び飯崎充の各氏は、社外監査役です。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sun-a-kaken.co.jp">http://www.sun-a-kaken.co.jp</a> (ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

### 株式事務に関するお問い合わせ

- (1)住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について  
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。  
証券会社に口座がないため特別口座に登録されている株主様は、上記の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
- (2)払渡期間経過後のお取り扱い  
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

## ホームページのご案内

当社の詳細なIR情報は、ホームページをご覧ください。

当社ホームページの〈投資家情報〉では、詳細なIR情報を掲載しております。

また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、展示会情報等についてもご覧いただけます。

URL▶<http://www.sun-a-kaken.co.jp>

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4234

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

## 株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4  
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

